

平成26年度 村上市社会科部 活動報告

部長 片岡 淑美

1 研究主題

資料をもとに、自分の考えを表現する指導方法の工夫

2 研究の概要

期 日	会 場	種別	活 動 内 容
5月 9日	総合文化会館	部会	活動計画作成 研究主題の決定
6月25日	保内小学校	部会	研修会 「森林資料の活用について」 講師 県立教育センター指導主事 須貝 学 様
10月15日	塩野町小学校	部会	授業研修会 「水はどこから」 授業者 塩野町小学校4学年担任 高橋 路子 教諭 指導者 県立教育センター指導主事 須貝 学 様 来賓 村上地域振興局 菅原 弥寿夫 様 林業振興協議会 稲葉 真知子 様

3 研究の実際

(1) 講演「森林資料の活用について」

「村上地域振興局・村上緑化推進連絡会議」作成の林業学習副読本「森林とわたしたちの暮らし」の作成までの過程やその活用について、作成に携わった須貝先生からお話をうかがった。

授業の中でどのように活用できるか、参加者が勤務校地区別（山北・朝日・村上・神林・荒川）グループに分かれ話し合った。



(2) 授業研修 4年社会科「水はどこから」

「朝日地区」と「新潟市」の取水から蛇口までの水の流れを提示し、違いを見つけ、その理由を森林の働きと関連付けて考えていく授業だった。途中で、「朝日地区」と「新潟市」の川水を実際に見せたり、総合学習で取り組んだ「植林」や「保水実験」などの経験を想起させたりした。二つの地区の「土地活用地形図」や副読本の「森林に降った雨の行先」「森林のさまざまなはたらき」のページを生かし、児童に「水と森林の関係」を結び付けて考えさせることができていた。授業中盤の「朝日のきれいな井戸水は〇〇のおかげです。」の〇に当てはまる言葉を考える活動、まとめでの「社会科日記」に今日の学びを書く活動では、どの児童も自分の考えや学びを書くことができた。須貝先生からは、「どんな資料をどの場面で何のために使うかが大切であること」「児童に意見を書かせる場合、何のために書かせるのか、何を書かせるのかの吟味が必要であること」「森林・林業学習とキャリア教育との関連」などについて、ご指導をいただいた。

4 成果と課題

研修会では、村上市の4年生以上に配布された副読本「森林とわたしたちの暮らし」作成までの経緯や位置付け、森林や林業について児童に学ばせる意義について研修することができた。

授業研修では、ねらいに即した資料を精選し適切な場面で提示することが、児童の学習意欲や知的好奇心を高め、思考を促し、考えを書く活動にスムーズにつながるということが分かった。

資料の重要性が特に語られる社会科である。部内で「この単元でこの資料は使える」といった情報の共有を進めるとともに、児童に表現したいと思わせ、表現するに値する思考を促す工夫について今後も研修を重ねていく。